

教育科目	自動車工学 I		教育内容	自動車の構造・性能 二輪自動車の構造・性能		学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	57 コマ	単位数 7 単位
授業目標	1. ガソリン及びジーゼル・エンジンの仕組み、各装置の構造や作動について理解できる。 2. シヤシの各装置、電装品の構造や作動について理解できる。 3. アーク溶接の方法、危険性や取り扱いについて理解できる					
授業概要	1. 自動車整備士及び2輪整備士として必要な自動車の基本的な構造、作動を学ぶ。また、技術革新により必要とされる電気の基礎を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等	アーク溶接等の作業の安全、2・3級自動車ガソリン・エンジン、2・3級自動車ジーゼル・エンジン、2・3級自動車シヤシ、2級2輪自動車、基礎自動車工学					

教育科目	自動車工学Ⅱ		教育内容	自動車の力学・数学、図面		学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 計算問題を解くうえで、必要となる基礎的な原理・法則・公式を理解できる。 2. 従来単位から SI（国際単位）への切り替えにより、単位及び計算方法を理解できる。 3. 製図に用いられる線の種類や太さ、文字について理解できる。また電気製図に用いられる記号などを理解できる。					
授業概要	1. 自動車整備士及び2輪整備士として必要な自動車の基本的な構造、作動を学ぶ。また、技術革新により必要とされる電気の基礎を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	回・後期
	評定方法 小テスト、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等	基礎自動車工学、自動車整備士の数学、配布資料					

教育科目	自動車工学Ⅲ		教育内容	低圧電気・電子理論、材料、燃料・潤滑剤			学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	4 単位
授業目標	1. 点検整備の方法と必要性、自己診断システムを利用した点検について理解できる。 2. 電気の基礎知識や電気用図記号、オームの法則の計算を理解できる。 3. 金属の種類、性質及び用途を理解できる。 4. 燃料の発熱量や燃料の性状、製法、規格を理解できる。						
授業概要	1. 自動車整備士として必要な自動車に使用される材料や燃料・油脂類の特徴を学ぶ。また、ハイブリッド車や電気自動車を取り扱うために必要な低圧電気の資格を取得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授						
使用 テキスト等	低圧電気取扱安全必携、基礎自動車工学、3級自動車ガソリンエンジン						

教育科目	自動車整備 I		教育内容	エンジン、シャシ、電装		学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1 年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	23 コマ	単位数 3 単位
授業目標	1. エンジン及びシャシ本体の構成部品の点検・修正及び分解・組立について理解できる。 2. 車上でエンジン、シャシ及び電装の点検・調整について理解できる。 3. 電装品の構成部品の点検・修正及び分解・組立について理解できる。					
授業概要	1. 自動車のエンジン、シャシの構造や作動、分解、組立、点検、調整を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等	3 級自動車ガソリン・エンジン、3 級自動車ジーゼル・エンジン 3 級自動車シャシ					

教育科目	機器の構造・取扱		教育内容	整備作業機器、測定機器、検査機器		学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1年	開講期	(前期・後期)	授業コマ数	16 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 整備に関する基礎知識や整備技術の重要性、安全作業の心得、整備工場から発生する公害等について理解できる。 2. 計測器、機器類の使用目的及び機能を正しく知り、正しい使い方を理解できる。 3. 点検整備、検査の必要性について学び、点検作業の流れを理解できる。 4. 検査機器の構造、取り扱いについて理解できる。					
授業概要	1. 測定機器の構造、用途及び精度について理解する。また、工作機器の構造、使用方法及び危険性について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	(後期)	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	1回・後期	1回	前期	回・後期 回
評定基準	評定方法 小テスト、定期テスト					
担当教員	『坪内学園教務規程』による					
使用 テキスト等	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
	自動車整備工具・機器					

教育科目	工作作業		教育内容	機械工作、手仕上げ工作		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 工作機器の使用方法を理解し、安全に正しく使用することができる。 2. 図面を読むことができ、正確に作成することができる。					
授業概要	1. 自動車整備作業で必要とする工具の作成を行う。 2. 作業機器の取り扱い方法を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等	基礎自動車整備作業					

教育科目	測定作業		教育内容	基本計測		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	22 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 測定機器の使用方法、取り扱いを習得することができる。 2. 迅速かつ精度の高い測定技術を習得することができる。					
授業概要	1. 自動車分解・組立作業における測定器具と取扱いについて学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評価方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等	基礎自動車整備作業					

教育科目	自動車整備作業 I		教育内容	エンジンの点検・分解・組立・調整・検査		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	80 コマ	単位数 3 単位
授業目標	1. 基本工具、特殊工具が正しく使用できる。 2. 分解、組み付けが正しい手順で行え、安全に作業ができる。 3. 適した工具の選択方法、使用方法を学ぶ。教材をお客様のものとして意識し、正しい手順で分解・組み付け作業ができるようにする。					
授業概要	1. ガソリン及びジーゼル・エンジンの分解整備を行う。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	修理書、自主作成プリント等					

教育科目	自動車整備作業Ⅱ		教育内容	シャシの点検・分解・組立・調整・検査、板金・ 塗装		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	90 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. 基本工具、特殊工具が正しく使用できる。 2. 分解、組み付けが正しい手順で行え、安全に作業ができる。 3. 各自動車部品の名称、役割、構造を理解できる。 4. 板金塗装の仕組みを理解し、補修や塗装の基礎を習得し、作業ができる。 5. 二輪自動車の構造、部品の名称、構造を習得する。 6. 安全作業に配慮し、迅速に作業ができる。					
授業概要	1. シャシ各部の構造、分解・組み立て作業について学ぶ。 2. エアロパーツの取り付け、钣金作業の作業概要について学ぶ。 3. 二輪車の構造、整備作業について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
評価方法	レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	修理書、自主作成プリント等					

教育科目	自動車整備作業Ⅲ		教育内容	電装の点検・分解・組立・調整・検査、故障原因探求		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	130 コマ	単位数 5 単位
授業目標	1. 簡単な回路図を読みさらに描くことができる。 2. 点検結果から不具合を判断し、調整・交換作業ができる。 3. 故障診断に必要な測定機器の取り扱いができる。 4. 安全作業に配慮し、迅速に作業ができる。 5. 低圧電気取り扱い者として必要な知識、技術を身に付ける。					
授業概要	1. 自動車の電装品の構造、作動を学ぶ。 2. 電装品回路を理解し、点検・調整及び交換作業を学ぶ。 3. 低圧電気取り扱いの資格を取得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 1 回	
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	法令教材、定期点検記録簿、自主作成プリント等					

教育科目	キャリアアップ講習	教育内容	日本語、自動車総合演習	教養	
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数 33 コマ 単位数 4 単位	
授業目標	1. 日本語能力試験 N2,N3 合格 2. 初級～上級レベルの日本語力の習得を目指す。 3. 危険物取扱者乙 4 種の習得を目指す。 4. 販売士 3 級の習得を目指す。				
授業概要	日本語能力試験 N2、N3 対策 危険物取扱者乙 4 種対策 販売士 3 級対策				
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）	
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期 回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト				
評定基準	『坪内学園教務規程』による				
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する				
使用 テキスト等	西隈 俊哉他『パターン別ドリル日本語能力試験 N 2』（アルク） 浅倉 美波他『合格できる日本語能力試験 N 2』（アルク） 岡本能里子監修『日本語能力試験スーパー模試 N 2』（アルク） 自主教材				

教育科目	キャリア演習 I		教育内容	キャリア演習 I ・ 人間性と社会性 I		演習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 履歴書の書き方(自己分析・企業分析含む)理解 2. 就職活動に必要な知識・マナーの習得 3. 採用試験に向けた面接の基本を習得 4. 就職活動早期取り組みへの意識付け 5. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 6. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。					
授業概要	履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析及び就職活動への意識を向ける。また、ガイダンスに向けた身だしなみ、就職活動に必要な基礎知識を身に着ける。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリント等					

教育科目	企業体験実習 I		教育内容	企業体験実習 I		教養
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	14 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 自動車の最新技術を実際に見学して学ぶとともに、集団行動に必要なルールを理解できる。					
授業概要	1. 自動車の最新技術を学ぶ。 2. インターンシップを通じて、現場での整備士の仕事について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評価方法 レポート					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等						

教育科目	工業・社会 I		教育内容	新入生研修 I、企画マネジメント I、総合体 育、企業関連 I		教養
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	31 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. 技能コンクールで、日頃の授業の成果を発揮することができる。 2. 自動車の最新技術を実際に見学して学ぶとともに、集団行動に必要なルールを理解できる。 3. 協力、公正などの態度を育てると共に、健康の維持と体力の向上を図る。 4. 就職活動や社会人として必要なマナーやモラルについて学び、実行することができる。 5. ボランティア活動を通じて、周辺地域に貢献することができる。					
授業概要	1. 日頃の授業の成果を技能コンクールとして発表する。 2. 整備士に必要な体力や体の使い方を体育を通して学ぶ。 3. 学校のルールや集団行動について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1 回・後期 1 回	
	評定方法 レポート等					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等						